宇宙新聞

宇宙時代の地球人を育てる YAC 日本宇宙少年団

H-IIA F26

「はやぶさ2」打ち上げ取材

平成26年11月30日～12月2日・種子島宇宙センター

記者・赤羽大和

スケジュール

【1日目】

この1日目は、種子島に来て打ち上げが延期になったりとどたばたが多い日でした。

この日の中でも一番心に残っているのはリーダーが言っていた「今できることを楽しもう」と言うことです。

私は、このお話を聞いて今できることを楽しもうと言うことをあらためて実感しました。

【2日目】

2日目に行った所で心に残っているのは、増田宇宙通信所と打ち上げを見るはずだったえびの日向と言う場所です。

なぜぼくがこの2つが心に残っているかというとえびの場では、ロケットの打ち上げ射場から3kmギリギリの場所でロケットの打ち上げ施設をよく見ることができたので打ち上げを見ることができたらよかったなあと思うととても残念でした。

もう1つは増田宇宙通信所に行ったことです。

なんでこれが大人なに心に残っているかというと運用中だと思われるアンテナがあったり展示物を見ることができたからです。

【3日目】

3日目はとても天候が悪く前日も飛行機でもゆれました。

船は出取初に出港したのですごいゆれました。

よく出発できたなあと思いました。

また、飛行機ではベルトサインが消えたと思ったらまた点灯したりして天候がとても悪くなったりと心配しましたが、羽田空港に無事とうちゃくできてよかったです。

【まとめ】

私ははやぶさが帰還してから宇宙が好きになり、その後継機であるはやぶさ2の打ち上げを見たくてこの取材に応募して当選しました。そしてもうあしたではやぶさ2の勉強や、打ち上げ計画書まで印さつ、1日目の打ち上げが延期になってYACの打ち上げ取材がなくなったかもしれないとメールに書いてあるのを見たときはこまりました。

でも、ロケットの打ち上げを見ることができたときはもうれしかったです。

そして種子島に行ったら2度目の打ち上げが延期かなったときはもうこまりでしたが、でもロケットが三回目の延期がなく打ち上がってくれてとてもうれしい気持ちでいっぱいでした。

種子島はいいなあと思ってまた行きたくなりました。

「打ち上がってくれてありがとう」

「はやぶさは帰還した時にたくさんの人が宇宙を好きになったかもしれないし、はやぶさ2も絶体に地球に帰ってきて宇宙が好きな人がふえてほしいです。」

はやぶさ2のプロジェクトチームのみなさんとはやぶさ2が人よろしくください。

応援しています。

はやぶさ2、無事に帰還してください。

願っています。